

会 議 録

会議の名称	第 20 回 茨木市中心市街地活性化協議会
開催日時	令和 6 年 4 月 30 日(火曜日) 開始 10:00～終了 11:30
開催場所	茨木市役所 本館 6 階 第 1 会議室
出席者	〔協議会構成員〕 加藤 眞一 (FIC ベース株式会社 代表取締役) (協議会会長) 笹井 直木 (茨木商工会議所 専務理事) (協議会副会長) 福井 龍也 (茨木市都市整備部 部長) (協議会副会長) 依田 祐一 (立命館大学 経営学部 教授) 中井 郷之 (追手門学院大学 地域創造学部 准教授) 若林 寛章 (株式会社ガンバ大阪 事業本部パートナー推進部ホームタウン担当 部長) (以上、計 6 名)
欠席者	山本 悠介 (一般社団法人茨木市観光協会 専務理事) 山田 久敬 (茨木市商業団体連合会 会長)
事務局	〔茨木商工会議所中小企業振興部 地域担当部長〕 中野 拓二 〔FIC ベース株式会社〕 原田 絵理 〔茨木市産業環境部 次長 兼 商工労政課長〕 河原 勝利 〔茨木市都市整備部 市街地新生課長〕 宮本 修宏 〔茨木市都市整備部市街地新生課 参事〕 藤後 学 〔茨木市都市整備部市街地新生課 課長代理 兼 市街地 A グループ長〕 辻井 啓悟 〔茨木市都市整備部市街地新生課 上席主幹〕 吉備 眞人 〔茨木市都市整備部市街地新生課〕 前田 浩貴 吉川 小百合 〔ランドブレイン株式会社〕 西村 花織、岡田 恵莉
議題	1. 茨木市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップについて (議案) 2. 茨木市中心市街地活性化基本計画 (第 2 期) 策定に向けた検討状況について (報告)
配布資料	(資料 1) 茨木市中心市街地活性化協議会委員名簿 (資料 2) 令和 5 年度 茨木市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告 (案) (資料 3 - 1) 中心市街地におけるまちづくりの取組み (資料 3 - 2) 茨木市中心市街地活性化基本計画 (第 2 期) 計画概要 (案) (資料 3 - 3) 茨木市中心市街地活性化基本計画【概要版】
議 題 の 経 過	
発言者	議題 (案件) ・ 発言内容 ・ 決定事項
(1) 開会	
茨木市	ただ今から第 20 回茨木市中心市街地活性化協議会を開会する。本日は委員 2 名より、欠席の連絡をいただいている。それでは開会に先立ち、会長の加藤様からご挨拶を頂戴する。

加藤会長	(あいさつ)
茨木市	茨木市中心市街地活性化協議会規約より、以後の議事進行を加藤会長にお願いする。
加藤会長	本日は委員総数8名に対し、参加者が6名のため、協議会は成立している。人事異動等に伴い新たに4名、委員に就任されたのでご紹介する。新たに就任された委員は私がご紹介した後に一言ずつ、ご挨拶をお願いする。 (福井副会長・若林委員・依田委員・中井委員あいさつ)

(2) 茨木市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップについて (議案)

加藤会長	それでは本日の議題に入る。 1つ目の議題は、茨木市中心市街地活性化基本計画に対するフォローアップについて、事業の進捗状況や目標の達成状況などを自己評価し、協議会委員の意見を記載したものを内閣府に報告するため、委員の意見を求めるものである。事務局から事前に資料を送付していると思うが、内容について、市および報告案を作成したランドブレイン株式会社に説明をお願いする。
茨木市 ランドブレイン㈱	(資料2について説明)
加藤会長	茨木市中心市街地活性化基本計画フォローアップについて説明があったが、意見や指摘があれば挙手の上発言をお願いする。
笹井副会長	資料2の3ページの新規出店に関する項目について確認したい。この数値は茨木市の補助金を活用した新規出店のみカウントしており、補助金を活用せずに新規出店した店舗はカウントしていないということか。
ランドブレイン㈱	その通りである。補助金を活用しない新規出店を計測することは困難だが、当然補助金を活用している店舗よりはるかに多い出店があることが予想される。実態は今回集計できている数値よりも多いと思う。
笹井副会長	承知した。茨木市では市独自の創業支援制度の実施を続けており、これまで商工会議所に相談しに来られた方の動向から見ても、創業するなら茨木市と思っただけにいると思う。継続して支援を続けてきたことの成果かと思われるので、今後もぜひ制度を継続して実施してほしい。 また、同資料15ページの中心市街地での公共空間活用について、この前茨木神社でイベントをしたが、そういうものも計上できると、件数が増えるのではないかと。検討になると思うがお願いしたい。
ランドブレイン㈱	第1期計画の期間に、目標指標の対象でない公共空間の活用も非常に進んできたと思われるので、次期計画では計上を希望されると良いのではと思う。

加藤会長	<p>なお、本日欠席の山本委員、山田議員については、本議案について賛成の表明をいただいている。</p> <p>その他何か意見等はないか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>それでは、フォローアップの報告書に関して、この内容で内閣府に提出しても問題が無いか決議を取る。本議案に賛成の委員は挙手をお願いする。</p> <p>【決議】</p> <p>賛成多数のため、本議案は成立した。</p> <p>茨木市にて微修正した報告書案を協議会委員にメールにて送付するので、再度確認をお願いする。</p>
------	--

(3) 茨木市中心市街地活性化基本計画(第2期)策定に向けた検討状況について(報告)

加藤会長	<p>続いて、2つ目の議題に入る。「茨木市中心市街地活性化基本計画(第2期)」策定に向けた検討状況について、茨木市から報告を受ける。現行の茨木市中心市街地活性化基本計画は計画期間が令和7年3月末までとなっているが、計画期間終了後も継続的に取組を進めていく必要があることから、令和7年4月からを計画期間とする第2期計画の策定及び内閣総理大臣認定を目指すものである。茨木市から事前に「中心市街地活性化基本計画(第2期)計画概要(案)」を送付させていただいていると思うが、計画の検討状況について、茨木市およびランドブレイン株式会社から説明をお願いする。</p>
茨木市 ランドブレイン	<p>(資料3-1~3-3について説明)</p>
依田委員	<p>立命館大学を中心市街地エリア内に位置付けていただいているので、岩倉公園を中心に活性化していければと思っている。第2期計画でも歩行者通行量を目標指標にするということだが、岩倉公園について、平日昼間の歩行者通行量の計測は行わないのだろうか。</p>
茨木市	<p>第2期計画では検討していければと思う。</p>
依田委員	<p>岩倉公園には、子育て世代を中心にかなり多くの市民が来られているように感じている。数値目標への貢献ということもあるが、来られている市民の皆さんへの働きかけによっては色々なことができるのではないかと考えている。</p> <p>立命館大学のキャンパス内では、南側に新棟ができ、市北部の里山プロジェクトとも連携する等、茨木市と連携した取り組みも進めている。新棟は、ガラス張りにして文化的なものを見ていただくという風にしたりと、ガーデンのメンテナンスを市民団体と共に実施することにしたりと、新たな動きも生まれている。中心市街地活性化の取り組みの新展開としても、またご提案ができそうだと考えている。</p> <p>先日「おにクル」の視察にも伺わせていただいた。その際、市長からはJR茨木駅と阪急茨木市駅の間の人流を創りたいということをお聞きし、活性化のコンセプトについてよく理解できた。「おにクル」も十分集客できており、運営の方からはこども連れの方の1階の部屋(もっくる)の予約が多すぎて、嬉しい悲鳴が出ているとお聞きしている。</p>

予約が多すぎて、歩いてふらっと立ち寄って、ふらっと利用いただけるような状況にならないということが一つの課題であるかと感じた。

加藤会長 茨木市から今のご意見についてご提案などはないか。

茨木市 施設の人気があり過ぎて、ふらっと立ち寄れないという点について、予約が取りにくいというのは現状その通りかと思う。しかし、「おにクル」は有料の遊び場以外にも図書館やホールなど多くの機能を備えた施設なので、例えば屋外のグラウンドや、付帯した公共空間も含めて市民の皆様と使い方自体を様々な広げていくということが、今後の課題になるかと思う。

依田委員 まちなかを利用するということについては、こども連れのニーズが非常に高いのだなということが「おにクル」で実感された。岩倉公園でも同じような構造が創れると良いのではと感じている。

福井副会長 依田委員にお聞きしたいのだが、岩倉公園と「おにクル」のみにこども連れが集中しているが、特定の施設に集中する集客を、もう少し分散する、集まる人をどうまちなかに広げていくかが今後の課題かと認識しているが、このあたりについてご意見いただけないだろうか。

依田委員 茨木市ではゼロカーボンシティを宣言されているが、一例としてドイツのフライブルグの事例をご紹介します。エコタウンを標榜しているまちなのだが、実際に訪れると全体的に車が走っておらず、人と自転車が優先されており、こどもが街中を回遊している。まち全体がそのような設計になっており、基本的に安全である。また、エコをテーマにしているため、水路が張り巡らされており、こども達が裸足で入れるようになっている。暑い時には水路に浸るといったカルチャーが創り上げられており、商業施設でも例えば足を水に浸して食事ができ、空調は極力使わないといったことが実践されている。

福井副会長 そこまではできないかもしれないが、集まった人をどうまち全体に広げていけるか、回遊性を高めていけるかは課題である。こどもが楽しく遊べるまちにしていこうとすると、車両の進入をどう考えるかも重要である。中長期的にそのあたりも見据えつつ、この5年間でどうするかを第2期計画に落とし込んでいければと思っている。

依田委員 実現可能性をあまり理解していない中でのご紹介ではあったが、大きい方向にだんだん舵を切っていく必要はあると思う。元茨木川緑地り・デザインなどにも鍵はあるのではないだろうか。こどもがいるところに親は行くということに真実はあると思う。「おにクル」の施設コンセプトは、まちの活性化という点でも効果的であると思う。

加藤会長 他にご意見はないだろうか。

中井委員	<p>茨木市の地価などを見ても、西高東低というか、JR 茨木駅方面の開発が進んできており、JR 茨木駅周辺が洗練されたまちという雰囲気に変化している。中心市街地はまちの顔という風によく言われるが、駅を降りた時の印象でそのまちが一定判断される面があると思う。阪急茨木市駅前の開発はJR 茨木駅周辺に比べると進んでいないので、第2期計画では具体的な取組や事業として触れていく必要がある。</p> <p>また、計画期間内に追手門大学も立命館大学も新たな学部が移転してくるので、中心市街地内を何らかの形で利用する約1万人の学生の増加が見込まれる。茨木市は、京都のように学生の街を目指すべきであると感じている。大学を卒業して学生期間が終わっても、茨木市から学生人口が流出しないようなまちづくりが必要である。そうした時に、私が重要だと考えているのは関係人口であり、元々いる方と新たな住民が交流できるような再開発の計画を立てていただければと思う。</p> <p>市役所の中でも中心市街地活性化の直接の担当課だけではなく、シティプロモーションや観光振興等、様々な取組みが行われているので、横のつながりを意識した取組みを展開いただければと思う。例えば観光の取組みなども入れていただければ、学生も関わるので、今以上の計画になるのではないかと思っている。</p>
加藤会長	<p>他にご意見ないだろうか。</p> <p>本日ご欠席の山本委員より、書面でご意見をいただいているので報告する。中心市街地周辺は徒歩・自転車が現在主な移動手段となるが、次期計画では、郊外から中心市街地への人の流れも積極的に導入してはいかがか、というご意見をいただいている。委員の皆様からいただいたご意見を踏まえた上で、茨木市にて今後の計画策定作業を進めていただきたい。</p> <p>以上で本日の議題については終わらせていただく。</p>
(4) その他、閉会	
加藤会長	<p>最後に少しお時間をいただき、FIC ベースの新しい事業統括マネージャーの原田氏をご紹介したいと思う。</p>
FIC ベース(株)	<p>1年間スカイパレットで「milk stand cafe elle」の運営に関わっていたが、もう少し幅広くまちづくりに関わっていきたく思い入社した。今後とも頑張っていきたいので、よろしくお願い申し上げます。</p>
加藤会長	<p>コンテナカフェのテナントとして手を挙げていただき頑張っていたのだが、もっとまちづくりをしたいということで、FIC ベースの常勤として入っていただいた。今後皆さんにも応援をしていただければと思う。</p> <p>それでは以上で、協議会を閉会する。次回の会議は決まり次第、事務局から連絡をする。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>